

『主体的に学び 人とつながり 未来をひらく 鹿嶋っ子』

鹿嶋市架け橋カリキュラム(概要版)

～アプローチ・スタートカリキュラムを一体的に捉えて～

幼児期の自発的な遊びを通して育まれた育ちや学びが、小学校以降の教育の土台となります。園での育ちや学びを小学校へつなぎ、子ども一人一人の姿を園と学校で共有してなめらかに接続していきます。

✓ 架け橋期 (5歳児から1年生) に育てたい三つの力

生活する力

生活習慣を身に付ける

関わる力

人と関わる力を育む

学ぶ力

豊かな心と意欲を育む

✓ 【架け橋期】園と学校のつながり

5歳児(アプローチカリキュラム期) 遊びを中心とした体験

生活：1日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。

関わり：ルールを守り、友達と楽しさや喜びを共有して遊ぶ。約束やきまりを守る。

学び：生活や遊びの中で数や文字に興味をもつ。自分の名前を読み、書こうとする。

小学1年生(スタートカリキュラム期) 学校生活へのスムーズな適応

生活：時刻に合わせて活動する。準備片付けなど自分のことは自分でできるようにする。

関わり：友達関係を広げながら仲良く遊ぶ。少人数グループ学習で友達と協力する。

学び：正しくひらがなを読み、10までの数の正しい書き方や読み方、順序を理解する。

✓ 土台となる家庭教育の視点 (お家で大切にしたいこと)

・規則正しい生活習慣

早寝早起き朝ごはんなどの生活リズムを身に付け、家族で食事を楽しみましょう。

・通学路の安全確認

入学前にお子さんと一緒に通学路を歩き、距離感や危険な場所を確認しましょう。

・自立への温かい見守り

自分のことは自分でできるように、お手本を示しながら温かく見守りましょう。

・豊かな体験と対話

多くの自然・生活体験を共に楽しみ、子どもと一緒に時間を過ごしましょう。

◆ 不安なことや気になることは、お気軽に先生方へご相談ください ◆

架け橋期に関するさらに詳しい内容や「朝ごはんを抜くと影響はある?」「給食の好き嫌いは対応してもらえる?」など、保護者の皆様からよくあるご質問はHPで公開しておりますので、右記QRコードより是非ご覧ください。

